

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はぐゆい		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		令和8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	令和8年1月8日		令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しめるプログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム会議を行い、意見を出し合い立案をしています。 ・施設にある畑や地域の就労施設やスーパー等に外出に行き、子ども達の自立や成人期に向けての経験ができるようにしています。 ・利用日数の多い子どもへ変化をつけ、個々の子どもに合った課題設定を行い、楽しめるようにしています。 ・子どものニーズを把握し、取り入れるようにしています(様子観察やリクエストを貰う等)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子ども達との交流の機会まだ少ないので、法人内他事業所との交流や児童館への外出の機会を増やしていきけるように検討していきます。
2	環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、子どもたちが健康で過ごせるように検温や手洗い、うがい(1人1個のコップ)の徹底や換気、ドアノブ等の消毒など感染対策を視野に環境の整備をしています。 ・日課に合わせて生活動線を配慮しながらスペースの共有ができるように配慮しています。細かく構造化はしていませんが、視覚化により、おもちゃの出し入れが自主的に行えるなど分かりやすい環境設定に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広いスペースを使い身体を動かす活動はできていますが、個人が落ち着いて過ごせる空間がないので、確保できるように工夫をします。 ・体調不良の子どもが安静にできる場所の提供ができるよう工夫していきます。 ・社用車の掃除を定例業務サイクルとして行えるようにします。 ・物品の置き場所を定め、整理整頓を引き続き心がけます。
3	学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生と子ども達の抱えている課題に関してなど送迎時に共有をすることができています。学校を含めた、連携会議も相談支援事業所発信で開催することができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議が出来ていない学校については、状況に応じて連携会議の実施を検討します。 ・引き続き学校の先生方との連携を密に、話を聞くことを継続して行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への情報提供	HUGシステム(アプリ)を導入し、アプリ内での情報発信を積極的に行っていますが、アプリの使用頻度や操作についての理解度には保護者様ごと差がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGシステム(アプリ)の使い方について引き続き丁寧な説明と、アップデートの際などの変更点について情報発信することで、活用しやすい環境作りを努めます。 ・年度初めの機会などを捉えて一斉周知するなど、周知のタイミングや、内容に応じて、保護者様にとって伝わりやすい方法を考えていきます。
2	地域の子どもたちとの交流の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日や長期休暇では児童館に行きましたが、行けていない曜日もあります。 ・地域にあるお店や行事を見に行くことはありますが、子ども同士の交流まではできていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内他事業所と合同のプログラムを実施して、交流を継続的に行っています。 ・地域にある施設への外出は今後も継続して行っていきます。 ・毎月提示するプログラムに、ねらいやめあてを明示し、保護者様に活動の目的などわかりやすいように工夫をします。
3	非常勤職員への情報の共有の仕方に改善の余地がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、活動の前後にミーティングを実施しており、1日の流れの把握は出ていますが、子ども達一人ひとりの課題への支援についての共有に不足があります。 ・常勤職員と非常勤職員で情報の差があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員と非常勤職員の全員が出席する会議の場を増やします。 ・個別支援計画については、口頭だけではなく紙面で確認できるように回覧を行うなど共有方法を工夫します。